

子ども音楽新聞

CHILDREN'S MUSIC NEWSPAPER

2023年1月 第30刊



これでわかる! おもしろ音楽史!

音楽室^はに貼ってある、あの作曲家ってどんな人?

有名なあの作曲家、実は引っ越しを80回も!?

…そんな豆ちしきを学べる新聞をお届けします!

音楽の歴史^{れきし}や作曲家について、いろーんな雑学を通して、
楽しく身につけちゃおう!

監修・執筆：飯尾洋一（音楽ライター）



バロック



教会や宮廷のために作られた曲が多く、イメージはとても優雅なもの。器楽合奏やオペラなど様々なジャンルの音楽が多く作られ、いろいろな旋律が混ざり合う多声音楽が流行。

古典派

音が重なってハーモニーを生み出す音楽の基礎ができた。メロディに低音や伴奏がつくという現在と同じ音楽スタイルとなり、演奏を聴く場が市民へと広がってきたのも、実はこの頃。



ヴィヴァルディ
(1678-1741) <イタリア>

- バロック音楽を築いた一人。バッハにも影響を及ぼした。
- 代表作の一つ「四季」は、「春」「夏」「秋」「冬」の4曲のヴァイオリン協奏曲。
- ♪「四季」



主流はチェンバロ

私が音楽の「父」だ！



J.S. バッハ
(1685-1750) <ドイツ>

- まじめな性格で、宮廷の楽長を務める。名オルガニストでもあった。
- バッハ一族は50人以上もの音楽家がいる。いちばん有名なのがこのヨハン・セバスチャン・バッハ。息子たちも有名な音楽家。なんと子どもは20人いたとか。
- コーヒーが好きすぎて「コーヒー・カンタータ」という曲を作った。
- ♪「小フーガ ト短調」、「G線上のアリア」、「トッカータとフーガ」



みんなで音楽史の旅へ出かけよう！



ヘンデル
(1685-1759) <ドイツ・イギリス>

- バロック時代後期を代表する作曲家。オペラ、オラトリオの分野で活躍。イギリスでも有名人。
- ♪「メサイヤ」より「ハレルヤ」、「水上の音楽」



ハイドン (1732-1809) <オーストリア>

- ハイドンの作品は交響曲だけでも104曲！その後の音楽史の発展に大きく影響したことから「交響曲の父」と呼ばれることも。
- ♪交響曲第101番「時計」、「天地創造」



ひゃっほー!!
ほくは神童だぜー!!

モーツァルト

(1756-1791) <オーストリア>

- 3才のときからピアノ(旧クラヴィア)を弾き始め、5才から作曲を始めて「神童」と呼ばれる。
- 作品は、声楽・器楽のほとんど全分野にわたり、その数なんと600曲以上！
- 少年時代より旅から旅への生活を送った。旅の最大の目的は就職活動！ウィーンに住んで大成功！
- 酒好き、カフェ好き、いたずら好き…。
- ♪オペラ「魔笛」、「アイネ・クライネ・ナハトムジーク」
- 「トルコ行進曲」、「レクイエム」

弟子入り

憧れ

ライバル

影響



1700年代
ピアノの出現により
音楽の幅が広がる

うおー！
音楽は芸術だー！！



ベートーヴェン
(1770-1827) <ドイツ>

- 音楽界に革命を起こし数々の名曲を生み出した。「楽聖」と呼ばれる。
- 耳の病気で耳が聞こえなくなっても曲を作り続けた。
- 怒りやすく潔癖症。引っ越しは約80回も！?
- 好きなものは、コーヒー、ワイン、マカロニチーズ！
- ♪「エリーゼのために」、交響曲第5番「運命」
- 交響曲第9番「合唱付き」

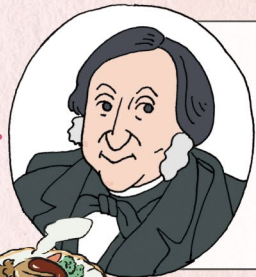
フランス革命
1789年~

崇拜



ロマン派(前期)

古典派の流れを受け継ぎつつ、自由に発展!
抒情的でスケールの大きな曲が多くなり、音楽の幅がより広がる。



ロッシーニ
(1792-1868) <イタリア>

- イタリアオペラの第一人者。性格は明るく陽気。
- 美食家としても有名で「●●のロッシーニ風」はロッシーニ考案のレシピ!
- ♪オペラ「セビリアの理髪師」

全部一人で作曲、演出、大道具製作をやったんだよ。おんげだおんげだ。



ワーグナー (1813-1883) <ドイツ>

- ドイツオペラの第一人者。それまでのオペラの伝統や常識を打ち破った!
- オペラには劇場が必要と考え、熱心なファンだった国王の支援を得て、専用劇場を作った。
- ♪オペラ「タンホイザー」「ワルキューレの騎行」



サン＝サーンス
(1835-1921) <フランス>

- フランスで発展したフランス独自の音楽を広めた。世界で初めて、クラシックの作曲家として映画音楽も作曲。
- ♪「動物の謝肉祭」より「白鳥」



シューベルト
(1797-1828) <オーストリア>

- 歌曲王と呼ばれ、ドイツリート(歌曲)の大作作曲家。
- ♪「魔王」、「野ばら」、「ます」

アヒル煮の手なんてすてき...



ヴェルディ
(1813-1901) <イタリア>

- イタリアオペラの中心人物。
- 国会議員になったり、農場経営や病院の開設、退職した音楽家のための家を作るなど、人のための事業も進んで行くマルチな側面も。
- ♪オペラ「アイダ」、「椿姫」



サイモン!



ヨハン・シュトラウス二世
(1825-1899) <オーストリア>

- 500曲を超える曲を残し、ウィンナ・ワルツの黄金時代を作った「ウィーンのワルツ王」!
- 父である「ヨハン・シュトラウスI世」がワルツの基礎を作った。
- ♪「美しく青きドナウ」、オペレッタ「こうもり」

「ワルツ王」なのに、実はダンスが苦手。踊りたくなかったんだよね...



シューマン
(1810-1856) <ドイツ>

- ピアノを練習しすぎて手を痛め、作曲家に! ピアノ曲と歌曲を中心にマルチに活躍。
- ♪「子供の情景」、「賦呈」

弟子入り 家族を支える



ブラームス
(1833-1897) <ドイツ>

- 初めての交響曲の作曲は43才!
- 大器晩成型の名職人。バッハ、ベートーヴェンと共に「ドイツ3大巨」と呼ばれる。
- ♪「ハンガリー舞曲」、「交響曲第1番」

親交



ビゼー
(1838-1875) <フランス>

- 36年の短い人生の中で有名な曲をいくつも生み出した。
- ♪オペラ「カルメン」、「アルルの女」

自慢はやっぱりオスマン「カルメン」だね!

仲間(国民楽派)



メンデルスゾーン
(1809-1847) <ドイツ>

- 結婚式での「あの」定番曲を作曲。大好きなバッハの曲を宣伝して再評価させた!
- ♪「ヴァイオリン協奏曲」「結婚行進曲」

ショパンよりほかの方が人気だったけどね。ほかの人が演奏すると興奮して失神する人もいたよ!



リスト (1811-1886) <ハンガリー>

- ピアニストとして超絶技巧の持ち主で、作曲の才能にも恵まれた。
- イタメンでアイドル並の人気でファンがたくさんいたか?!
- ♪「ラ・カンパネラ」

友人・ライバル



ショパン (1810-1849) <ポーランド>

- 数多くのピアノ曲を作曲し、「ピアノの詩人」と呼ばれる。
- パリに渡ってピアニストとして成功。コンサートホールではなく、小さなサロンで弾いて有名に。
- 繊細であるがゆえに神経質な性格で、病気も多かった...
- ♪「革命」、「小犬のワルツ」、「ノクターン」

女性達がほかの演奏を喜んでくれたんだよね... ファン? みたいいな人たちもいたよ。



スメタナ
(1824-1884) <チェコ>

- 「チェコ国民音楽の父」といわれる。
- 聴力を失いながら書き上げた「ブルダバ(モルダウ)」は合唱曲として日本でも有名。
- ♪「ブルダバ(モルダウ)」



1853年 バリイ来航 開国の動きへ...



かぶき 歌舞伎の流行



しゃみせん 三味線

こ 箏

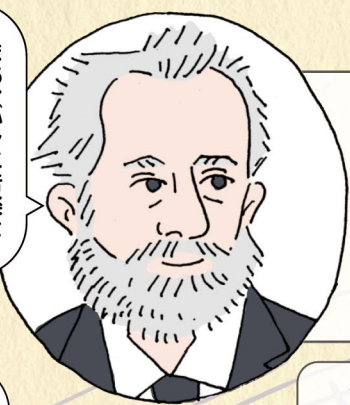
は ロマン派(後期)

これまでよりさらに自由に、スケールも大きく発展!

近現代

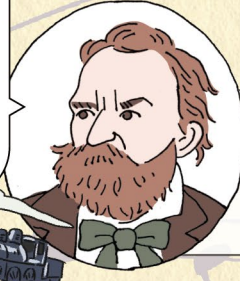
和音も複雑化し、不協和音、電子音や機械音も取り入れ、
よりこれまでにない音楽を生み出す試みが盛んに。
人々への需要も広がる。

まあ、バレエ音楽と
いったら私だよね



チャイコフスキー
(1840-1893) <ロシア>
○法律のエリート官僚の道を捨て、音楽のエリートに!
○ロマンチックで美しいメロディと、壮大なオーケストラの響きで、国民から大人気となった。
♪「白鳥の湖」、「くるみ割り人形」

音楽も好きだけど、鉄道が好きすぎて模型
も作ってたんだよね。母はオタクです。



ラフマニノフ (1873-1943) <ロシア>
○ザ・ロマン派! ロマンチックなメロディとドラマチックな響きで人々を魅了!
○身長は2メートル近く、手はピアノのドから上のソまで届いたとか?
♪「鐘」、「ピアノ協奏曲第2番」、「ヴォカリーズ」

ドヴォルザーク
(1841-1904) <チェコ>
○チェコの民謡や民族舞踊を取り入れ、チェコ独特の音楽を作った。
♪交響曲第9番「新世界より」

マーラー
(1860-1911) <オーストリア>
○伝統を守ったウィーン音楽界の革命児!
○一曲80分くらいの長い交響曲をいくつも書いた。死後にブームが到来して、現代の演奏会では大人気。
♪交響曲第1番「巨人」



やがて私の時代が来る!



ラヴェル
(1875-1937) <フランス>
○ジャズやスペイン音楽など、さまざまな要素を取り入れて作曲。あだ名は「管弦楽の魔術師」!
○旅行にネクタイを57本持って行くオシャレさんだったとか。
♪「ボレロ」、「亡き王女のためのパヴァーヌ」

弟子入りを頼む



ガーシュウィン
(1898-1937) <アメリカ>
○ポピュラー音楽からクラシック音楽、ジャズ、ミュージカルまでなんでも挑戦。新ジャンル「シンフォニック・ジャズ」を確立。
♪「ラプソディ・イン・ブルー」

エルガー
(1857-1934) <イギリス>
○イギリスの作曲家としては200年ぶりに人気となった偉大な人物。
♪行進曲「威風堂々第1番」、「愛のあいさつ」



親交

あんまり人付き合い得意じゃないんだ。でもシャムネコは好き!



ドビュッシー
(1862-1918) <フランス>
○これまでの伝統より自由な音楽を求め、わかりやすいメロディと独特なハーモニーで人々に愛された。
♪「月の光」、「アラバスク」



バーンスタイン
(1918-1990) <アメリカ>
○クラシック作曲家、ミュージカル作曲家、指揮者、ピアニスト、テレビ司会者とマルチにこなすアメリカのスーパースター!
○タバコは1日100本! ウイスキーは1本!?
♪「ウエスト・サイド・ストーリー」

20世紀アメリカでは、レコードと放送が本格化し、音楽が産業として大きく発展

1923年
ディズニー
スタジオ設立

リヒャルト・シュトラウス
(1864-1949) <ドイツ>
○詩や絵をテーマにする交響詩とオペラをたくさん作曲。風の音や雷の音、稲妻を出す楽器など、なんでも音楽にする天才。
♪「ツァラトストラはかく語りき」

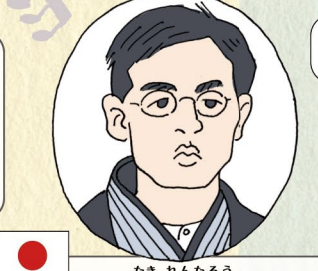


ヴェルディから影響を受けた

プッチーニ
(1858-1924) <イタリア>
○ザ・オペラ作曲家の代表格。ドラマチックな展開、覚えやすいメロディ、絶妙なハーモニーが特徴。
♪オペラ「蝶々夫人」、オペラ「トゥーランドット」



「蝶々夫人」はなんと長崎が舞台!
日本らしい旋律がたくさん出てる。



滝 廉太郎
(1879-1903) <日本>
○日本で初めて「ドレミファソラシ」のすべてを使って作曲した人物。本場ヨーロッパでクラシックを学ぶためドイツに留学したが、病気ですぐに帰国、23才という若さで亡くなった。
♪「荒城の月」、「花」、「お正月」

ワーグナーから影響を受けた

山田 耕筈
(1886-1965) <日本>
○日本人初の本格的な交響曲を作るなど、西洋近代音楽に影響を受け、日本に広めた。
♪「赤とんぼ」



ジョン・ウィリアムズ
(1932-) <アメリカ>
○超一流オーケストラも演奏する映画音楽の巨匠! 既にクラシック音楽化?
♪「ジョーズ」、「スター・ウォーズ」、「ジュラシック・パーク」

交流

武満 徹
(1930-1996) <日本>
○世界中で評価された数少ない日本人作曲家。
○映画音楽や舞台音楽、大河ドラマの曲など、さまざまなジャンルを作曲。バーンスタインからも依頼。
♪「ノヴェンバー・ステップス」



飯尾洋一さんの音楽あれこれ

1. 意外と新しい? クラシック音楽の歴史

「クラシック」とは「古典」のこと。時を経ても、ずっと聴かれ続ける音楽がクラシック音楽だ。だから、クラシック音楽とは古い音楽を指す……という理解はまちがっていない。ベートーヴェンが活躍していたのは200年も前なのだから。でも、よく考えてほしい。それって、そんなに古いのかなあ。

日本の歴史に重ねると、クラシックの作曲家の大半は江戸時代中期から明治、大正、昭和初期くらいを生き、もっと古い戦国時代や鎌倉時代、平安時代にクラシックの大作曲家がいたかといえば、だれもない。つまり、クラシック音楽は古いといっても、長い歴史のなかでは案外新しいとも言える。みんなのおじいさんおばあさんが若かった頃、ストラヴィンスキーやショスタコーヴィチは存命だったんじゃないかな? 今を生きる私たちとクラシック音楽はつながっている。

2. 曲のスタイルには流行がある

どんなジャンルの音楽にも流行がある。クラシック音楽だって例外じゃない。ある時期に盛んに書かれていたスタイルの曲がやがて不人気になり、次に新しいスタイルの曲が流行する。そんなサイクルがくりかえされている。

たとえば、18世紀後半、モーツァルトが活躍した時代にはモーツァルトに似たような作風の曲を書く作曲家がたくさんいた。でも20世紀の作曲家はだれもモーツァルトみたいなスタイルで曲を書いていない。音楽史に詳しくなってくると、知らない曲を聴いても、その曲がだいたいつ頃に書かれた曲かを推理できるようになる。ときには推理が外れることもあるけどね。

3. 作曲家の生き方は時代で異なる

バッハは教会のためにたくさん名曲を書いた。なぜなら教会に雇われていたから。古い時代の作曲家は宮廷や教会で働くサラリーマンみたいな立場だった。

ところがベートーヴェンくらいの時代から、どこにも雇われない自立した作曲家が増えてくる。身分社会から市民社会に世の中が変わったから、作曲家は自分で稼がなければならなくなったんだ。曲を売ったり、演奏家としてステージに立ったり、音楽を教えたり。生計の立て方は人それぞれだ。20世紀以降は映画のために曲を書く人も大勢いる。

文：飯尾洋一

クラシッククイズ?

レベル

1

西洋音楽史の時代区分で間違っているのはどれ?

- ①古典派 ②バロック ③原始 ④ロマン派

レベル

2

「歌曲王」とよばれたシューベルトが作曲した「歌曲」は?

- ①歌の翼に ②レクイエム ③メヌエット ④魔王

レベル

3

オペラを作っていない作曲家は?

- ①プッチーニ ②ヴェルディ ③マーラー ④ビゼー

答えは最後のページ→

もしもモーツァルトが日本を訪れていたら…



不屈の名作!?



【クラシッククイズ】の答え
 レベル1: ③原始 レベル2: ④魔王 レベル3: ③マーラー

音楽史って意外とおもしろいよね!
 歴史や音楽家のことを理解したうえで曲を聴くと、また新たな世界が見えてくるかも♪作曲家については、YouTubeチャンネル「こどものためのクラシック」の動画でも一部紹介しているよ!



ぜひチェックしてね♪



「子ども音楽新聞」バックナンバーはこちら!

ソニー音楽財団 検索

*ソニー音楽財団では、コンサートを含む子ども向けクラシック音楽情報や豆知識を発信する公式 SNS や無料モバイルアプリを配信中! フェイスブック・ツイッター「こどものためのクラシック」



無料モバイルアプリ

子育てクラシックナビ

「子育てクラシックナビ」は、お子さまと一緒にクラシック音楽を楽しめるアプリです。

- 日本全国で開催される未就学児から中高生向けのコンサートを検索可能!
- 子ども向けクラシック音楽動画を安心・安全に視聴!
- クラシック音楽に関するよみもの・楽しく学べるゲーム機能などが充実!

